

# 9月大天体ショーが始まる



## プラネ新聞

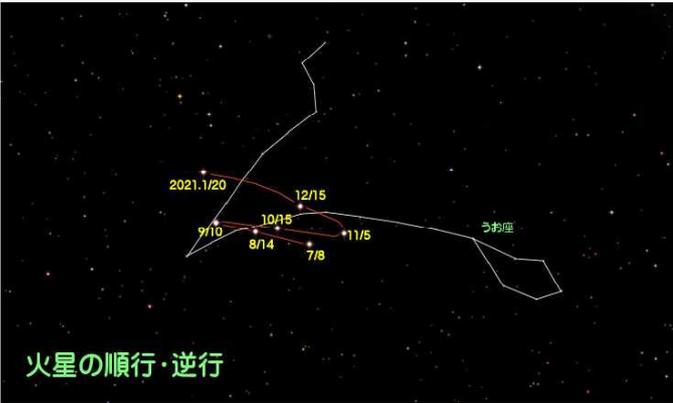
発行所 岐阜市科学館  
〒500-8389  
岐阜市本荘3456-41  
TEL: 058-272-1333  
FAX: 058-272-1303

### 火星が途中から逆に動いていくって!?

9月10日、火星が留!! 順行から逆行に!?

火星って聞くと、なんだかワクワクしますね。この火星、10月には地球に最接近します。そこでいろいろな国が火星に注目し、火星探査機なども数機、今現在火星に向かってい

星に向かっています。さて、そんな火星ですが、なんだか妙な動きをするようです。行ったり来たりするのは、一体どういったことでしょうか。

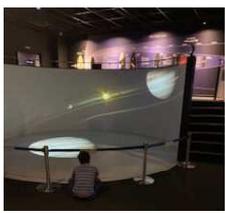


火星の順行・逆行

火星は毎日同じ時刻で見ると、西へ西へと移動していきます。他の星達(恒星)もそうです。しかし、火星の向こうにある星座の位置に注目してください。最初は、空にある恒星達に対して地球と同じく東へその位置を移しています。これを順行といいますが、9月10日を境に今度は西へと少しずつその位置を変えています。これが逆行です。その後、11月16日をさかいに、今度は再びその位置を東へと変えています。これを順行に戻したといえます。このような順行や逆行はなぜ起こるのでしょうか。それは、地球が火星より公転速度が速い

からです。つまり、地球は365日で一周しますね。ところが火星は遅く687日もかかるのです。つまり、地球が火星より速いので火星を追い越すとき、これらの現象が起きるのです。もっとわかりやすく説明しましょう。同じ方向に(東に向かって地球が)車を走らせていたとしましょう。すると遅い車(火星)が前方にいました。その車も同じく東の方角に向かって走っています。しばらくすると、自分の車は相手より速い速度なので追い越しますね。この追い越す一瞬は相手と並ぶので止まって見えますね。これが「留」です。さらに、追い越した後は相手の車はまるで後ろ(西の方向)に向かって動いているように見えますね。これが逆行です。さらに、この後、こちらの車はいつまでも東に向かって走っていると太陽系から離れてしまうので、やがて、円を描くように北に向かいます。すると、後ろに行った車(火星)を見ると、今度はふたたび、東に向かって走っているように見えます。これが順行です。まさに、惑う星ですね。

### 展示物の解説 「スペース・アイ」



今回はスペース・アイの楽しみ方です。横の階段を上って上から眺めてください。それも最初(天文台が開くところ)から見ていると、宇宙の大きさを感ぜられると思いますよ。映像もきれいです。

### 目立たないけれど秋の星座の一番手!

目立たないけれどどのはいづもの、そもそも秋の星座はそのほとんどが目立ちません。おとなしいという意味ではありませぬ。どこにあるのかわかりづらいのです。ということでは暗い星ばかりで出来ている星座が多いのです。そんな秋の星座ですが、その中でもとりわけその存在を確認することが難しい星座があります。それも秋の星座の一番手として登場してきています。「やぎ座」です。4等星以下の暗い星ばかりで構成され、それを見つけたことは出来ませぬ。ではその見つけ方を紹介しましょう。

う。ベガとアルタイルを結んだ直線をそのまま南の方角へ同じ距離だけ伸ばします。その辺りがやぎ座の中心です。さて、やぎ座といえばなんだか変な格好をしていますね。上半身はやぎ、下半身は魚です。これはパンという少々あわてんぼうなやぎ頭の牧神です。なぜこんな格好で星座になったのでしょうか。あるとき、恐ろしい怪物が現れ、必死で逃げようと、魚に変身して川に飛び込みました。ところがあわてんぼうで、上半身はやぎのまま魚に変身した。上半身はやぎのまま魚に変身することを忘れて泳いでいたのです。これを見つけた大神ゼウス。なんて面白いやつだと大笑いし、星座にしたということなのです。

